

| 図書館だより                   | 内容   |
|--------------------------|--|
| No.90 <b>ぽれぽれ</b>        | ◇巻頭言 看護学科 東辻先生<br>◇リレーエッセイ 理学療法学専攻 江戸先生<br>◇おすすめの本の紹介 作業療法学専攻 岡村先生<br>◇図書館サービス紹介 |
| 千葉県立保健医療大学図書館 2026. 4. 1 |  |

## 巻頭言 本棚を見失った日、視野が広がった日

看護学科 東辻 朝彦先生

私が図書館を“視野が広がる場所”だと思えるようになったのは学部生の頃ではなく、大学院生になってからのことです。

学部生の頃は図書館を限定的に利用していました。授業で必要だと言われた図書を蔵書検索で確認し、その本だけを見つけに行く。調べる内容は教員から指示されたもの限り、必要な資料を借りたら用事は終わり。課題をこなすだけで十分で、立ち止まって考えることや目的以外の棚に目を向けることはありませんでした。

大学院に進学してからも初めはその延長線上でした。ある日も授業で必要だと言われた本を探すためだけに図書館へ向かいました。ところがそのとき、目的の本棚をすぐに見つけることができませんでした。仕方なく視線を移した先にあったのは特集棚で、たまたま目に留まったのが『失敗の科学』という本でした。課題とは関係のない一冊でしたが、タイトルに強く惹かれ、思わず手に取り、そのまま借りて帰りました。読んでいくうちに、医療業界が抱えやすい閉鎖性や失敗を表に出しにくい構造、そして現実社会では試行錯誤を積み重ねる経験そのものが重要であるという視点に気づかされました。それは、看護を学んできた自分自身の学び方や考え方を静かに問い直す時間でもありました。

後日、特集棚を眺めてみると同じ場所に置かれた『夢見るディープラーニング』という本が目にとまりました。医療とは一見関係のない分野でしたが、「他の領域から看護を見るのもいいかも」と思うようになっていた私は、自然と手を伸ばしていました。これが私にとって初めて機械学習モデルを構築する機会となりました。そこから数理最適化や AI の考え方に触れるようになり、最近ではそれらを研究と結びつけ論文を書くことにもつながっています。

最近では文献検索や情報整理の多くを AI でまかなえる時代になりました。それでも、図書館で本棚の前に立ち、偶然一冊の本に出会った経験には確かに意味があったと感じています。図書館は決められた答えを効率よく探す場所であると同時に、自分の視野の狭さに気づき、新しい問いへと導いてくれる場所でもあります。当時、探す本棚を見失ったことは単なる失敗でしたが、特集棚に目をやったことが今の自分の科学的探究につながっているとすれば、それは図書館が静かに示してくれた失敗にも意味があるという“失敗の科学”だったのかもしれない。みなさんも図書館で可能性を広げる機会を探してみてはいかがでしょうか。

リハビリテーション学科 理学療法学専攻 江戸 優裕先生

前号の清水先生からのバトンを受け取り、「〇〇を飼うということ」連載にしてみました。清水先生は猫でしたが、我が家では犬を飼っています。実は私も清水先生と同じく、最初は飼うことを反対していたのですが、家族の強い希望により数年前に迎え入れました。新しく大切な家族が増えることを覚悟した当時の私は、予め必要な知識を身に付けるべく、本やネット記事を読んだり、専門家に聞いたりして準備しました。実際に一緒に暮らし始めると、知識どおりにいかないことが多々ある一方で、やはり知識が役立つ場面は少なくはなく、色々と予習しておいて良かったなと思いました。

犬は一日のうち10時間以上を寝て過ごしますが、我が家の茶々丸君は私や家族にお尻を向けたりくっつけたりして眠ります。このエッセイを書いている今もそうです（写真）。一見すると無礼ですが、こうした行動は飼い主に対する信頼の表れだそうです。急所であるお尻を向け、背後の死角を安心して預けていると考えられています。人間は恩人に足を向けて寝られないと言いますが、犬はその逆ですね。このような習性から私に対する茶々丸の気持ちが分かり、私もまた茶々丸のことを一層愛くるしく思うようになりました。

心の中は目に見えませんが、犬は喋らないので茶々丸の本心は分かりません。しかし、お尻を向けて寝ると目に見える行動と犬の習性を結びつけることで茶々丸の感情を推測できました。目に見えないものと言えば、感情や愛といった抽象的な概念が代表的ですが、他にも非常に小さいもの（原子・細胞など）や多くの物理量（力・温度など）があります。これらを見る（測る）ためには機器が必要ですが、目に見える事象を正確に捉えて正しい知識と組み合わせれば、かなり推測することができます。

私は理学療法学の教員なので、身体の動きを理解するためのノウハウについて授業で扱います。学生には、「力は目に見えないが、目に見える姿勢や動きから、その背景にある力を推測できる」ことを伝えます（運動方程式  $F=ma$  というやつです）。この力をいかにコントロールするかが動作改善の鍵であり、人の動きの専門家である理学療法士に求められる必須のスキルだからです。他学科・専攻の皆さんも、その専門性に応じて目に見える事象から目に見えない現象を推測する場面が必ずあると思います。誤った知識は誤った推測を、不十分な知識は不十分な推測を導きます。見えないものを正確に見るために、皆さん図書館を利用して正しく深い知識を身に付けましょう！



私にお尻を向けて寝る  
江戸茶々丸君



## おすすめの本の紹介



リハビリテーション学科 作業療法学専攻 岡村 太郎先生

四十数年前、私が作業療法士として病院で初めて患者さんを担当したとき、診断名と症状は驚くほど教科書的で、専門書や雑誌を読めば対応の見通しが立ちました。「医学は自然科学として、比較的答えが出しやすいのだ」と感じた瞬間でした。しかし同時に、病気ではない健常者が強い「正しさ」を武器に主張を曲げない場面に出会い、戸惑うこともありました。自然科学の OS では処理できない、多様な“正義”がそこでは働いているからです。学生が実習で困るのも、こうした「わけのわからない正しさ」に直面したときかもしれません。今回は、その理解を助けてくれる本を紹介します。

### ①『ささやかだけれど、役にたつこと』レイモンド・カーヴァー 著 中央公論新社, 1989 年

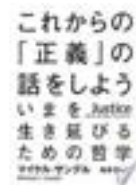
短編小説を通して“理解や共感とは何か”を静かに教えてくれる一冊です。どの作品にも、ささやかな行為が他者を支える場面が描かれています。この大学に来てから、私自身よく読み返す本です。価値観の違いがあっても、人をつなぐ小さな行為が力を持つことを思い出させてくれます。時間があったら読んでほしいです。

### ②『ビジネス教養として知っておきたい 世界を読み解く「宗教」入門』小原克博 著 日本実業出版社, 2018 年

キリスト教、イスラム教、ユダヤ教、仏教など主要な宗教の世界観が、具体例を交えてわかりやすく整理されています。文化的・宗教的背景を知らないと、相手の価値観が理解しにくい場面は多くあります。人の“価値観の土台”を知るための良書！必読書です。

### ③『これからの「正義」の話をしよう』マイケル・サンデル 著 早川書房, 2011 年 [幕張所蔵 311.1 Sa62]

「1人を犠牲にして5人を救うべきか？」という有名な倫理的ジレンマを入りに、私たちが当然と思っている「正しい」価値を問い直す本です。実習で価値観の衝突に遭遇したとき、この視点が他者理解の手がかりになります。NHKの「ハーバード白熱教室」を見た後に読むと、理解が深まります。必読書です。



### ④『キヨミズ准教授の法学入門』木村草太 著 星海社, 2012 年

倫理の次は“法の正しさ”。ライトノベル風で読みやすく、法的思考が世界をどのように整理するのかがよくわかります。「筋の通らない主張」の背景には、その人が大切にしている“法的正義”があることが少なくありません。行政で働く方々の OS にも、当然ながら法律の正義が流れているのだと感じます。必読書です。

### ⑤『ヒルビリー・エレジー』J・D・ヴァンス 著 光文社, 2022 年

法や倫理より複雑な、社会背景が作り出す“正しさ”を理解するための回想録です。現在アメリカ副大統領のヴァンス氏が育った「ヒルビリー」文化は、日本では想像しにくい価値観に満ちています。ゼレンスキー大統領に「ありがとうと言ったか」と迫った場面は私も驚きましたが、背景文化を知ると「寄

り添う」ことも可能です。感謝や身だしなみの意味まで、社会・歴史が形づくる価値観に気づかせてくれる本です。ヴァンス氏が傲慢に見える人には、読んでほしい本です。

#### ⑥『発達障害の人のための完全ガイド』對馬陽一郎ほか 著 翔泳社、2025年

ここからは生活 OS に関する実践的な一冊です。「わかっていてもできない」をサポートする工夫が、スマホアプリや 100 円ショップのアイテムなど身近な例で紹介されています。支援者としても、自分の生活の改善にも役立つ内容です。私自身、学生時代に出会っていただくと生活が楽だったのではと思うほど役に立っています。買ってほしい本です。

#### ⑦『「能力」の生きづらさをほぐす』勅使川原真衣 著 どく社、2022年

私たちを時に縛る“能力”という価値観を問い直す本です。教育社会学の視点から能力主義からコンピテンシー、性格と環境の適応的方法について考え、自分を楽にするヒントを与えてくれます。実習や臨床で悩んでいる学生にこそ読んでほしい内容です。

「わけのわからない人」の背後には、その人なりの文化・社会背景や正義があります。今回紹介した本が、その多様な正しさを理解するための補助線となり、皆さんが実習や将来の臨床で戸惑ったときに、ちょっとした助けになることを願っています。

## 図書館サービス紹介

### 新着図書コーナー

図書館には、多い月には 100 冊を超える図書が新しく蔵書の仲間入りをします。そんな数多くの新着図書を効率的にチェックできるのが、「新着図書コーナー」です。幕張キャンパス図書館の新着図書コーナーは、カウンターの向かい側にあります。雑誌架の側面と回転式書架に、さまざまな分野の新着図書を見やすく配架しています。仁戸名キャンパス図書館には、一般書と専門書、それぞれの新着図書コーナーがあります。一般書の中から、話題の文芸書を集めて紹介しているスペースもあります。両館とも入り口付近にコーナーがありますので、通りかかった際に気軽にのぞいてみてくださいね。

最後に、図書館の外にいても新着図書がチェックできる方法をご案内します。図書館ホームページ(<https://lib.cpuhs.ac.jp/drupal/>)の「新着資料」コーナーでは、新着資料を書影付きでランダムに表示しています。また、「月別新着リスト」の文字をクリックすると、受入年月別の新着資料リストを見ることができます。リストは随時更新していきますので、お楽しみに！



### 千葉県立保健医療大学

#### ■幕張キャンパス図書館

〒261-0014 千葉市美浜区若葉 2-10-1  
TEL.043-272-2987

#### ■仁戸名キャンパス図書館

〒260-0801 千葉市中央区仁戸名町 645-1  
TEL.043-264-3061

図書館 HP



「図書館だより ぽ〜れば〜れ」に関するアンケートのご協力をお願いします

回答先はこちら(無記名)

<https://forms.office.com/r/jSbOMfDnhi>

